

全症例 1397例

(1999.6月～2023.5月まで 24年間に当院で死去された人)

そのうち婦人科癌は 計38人 2.7%

子宮頸癌 11例 平均死亡時年齢：66.8才

死亡時年齢：68 64 73 82 81 73 62 51 55 52 74

子宮体癌 5例 平均死亡時年齢：76.0才

死亡時年齢：78 90 77 59 76

卵巣癌 21例 平均死亡時年齢：70.6才

死亡時年齢：47 63 72 86 65 77 83 55 67 51 64 58 78
81 93 87 56 59 76 88 78

膣癌 1例 死亡時年齢：80



監 修

独立行政法人国立病院機構四国がんセンター
婦人科 手術部長 竹原 和宏 先生

リブタヨ®による治療について②

●投与方法



リブタヨ®は点滴で投与する薬です。
通常、1回350mgを30分かけてゆっくりと点滴
します。

●投与スケジュール

投与は3週間ごとに行います。



投与日のスケジュールの例：午前診療の場合



治療の当日とその後数日間は、体調の変化に気を付けられる
よう、できるだけ仕事や用事を調整しておくといでしょう



特に注意すべき副作用①

リブタヨ®の投与中または投与後に、以下のような特に注意が必要な副作用があらわれることがあります。

副作用を知り、早めに症状に気が付くことで、適切に対処することができます。

特に注意が必要な副作用	解説ページ
● インフュージョンリアクション	8ページ
● 大腸炎/重度の下痢	8ページ
● 筋炎/横紋筋融解症/重症筋無力症	9ページ
● 心筋炎/心膜炎	9ページ
● 腎機能障害(尿細管間質性腎炎等)	9ページ
● 内分泌障害(甲状腺機能障害/副腎機能障害/下垂体機能障害)	10ページ
● 1型糖尿病	11ページ
● 重度の皮膚障害	11ページ
● 神経障害(ギラン・バレー症候群等)	11ページ
● 脳炎/髄膜炎	11ページ
● 肝不全/肝機能障害/肝炎	12ページ
● 間質性肺疾患	12ページ
● 静脈血栓塞栓症	12ページ

以降のページで各副作用の症状などを説明しています。
症状があらわれた場合には病院に相談しましょう



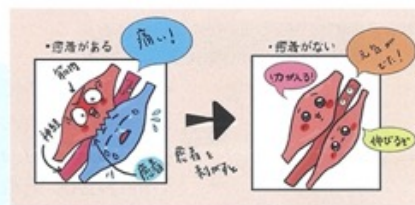
その悩ましい痛み まずはご相談ください

「痛み」は本人にしか感じることでできない不快な感覚です。その「痛み」を放っておくと慢性の痛みになり、その結果日常生活に支障をきたす可能性があります。鎮痛薬は「痛み」を和らげることができますが、使用し続けると胃潰瘍や腎機能、肝機能に影響を

及ぼすことがあります。当科では、ハイドロリリース、神経ブロック、高周波パルス、熱凝固療法、硬膜外腔癒着剥離術、経皮的椎間板減圧術、脊髄刺激療法など、痛みの特化したあらゆる治療を行っています。

ハイドロリリース

筋膜や神経に対する癒着は痛みや身体の動かしにくさ(拘縮)の原因になります。乳がん手術後や骨折術後の身体の動かしにくさは日常生活に大きな影響を及ぼします。その癒着部分をエコーで特定し、必要な部位に薬液を注射して凝固固まった筋膜や神経を引き離すことで、神経などの圧迫を減らして痛みを和らげま



す。肩こりや腰・膝などのつらい痛みの症状がある方にも有効な治療法です。

(2022年6月現在千葉県内で超音波を用いたハイドロリリースを施行している施設は当院含めて数病院の取り扱い)



神経ブロック

神経や神経の周辺に局所麻酔薬を注射して、痛みをなくする方法です。当科では安全に正しく処置を施行するために超音波を用いています。

高周波パルス

神経ブロックなど様々な治療をうけても長期間治療効果が持たない痛みに対して有効な治療法です。特殊な針を用いて痛みに関与している神経の近傍から高周波エネルギーを加える方法です。比較的神経には安全で、力の入りにくさやしびれが起こりにくく、3～6ヶ月の

(2022年6月現在 千葉県内医療機関では当院含めて数病院の取り扱い)

長期的な鎮痛効果を得ることができます。带状疱疹後神経痛のような長期間続いている神経痛や背骨の変形が影響した痛みには特に効果的です。



熱凝固療法

針の先から高周波の電磁波により熱を発生させ、神経を構成しているタンパク質の一部を凝固して、神経の働き(特に痛みの部分)を長期間抑

える方法です。この方法では、遮断された神経が再生するまで効果が持続します。

(2022年6月現在 千葉県内医療機関では当院含めて数病院の取り扱い)

硬膜外腔癒着剥離術

「脊椎まわりの手術に伴う症状」「脊柱管狭窄症」「椎間板ヘルニア」などの腰痛は硬膜外腔の癒着が原因となっていることが多くみられます。硬膜外癒着剥離術は特殊なカテーテルを用いてその癒着を解除する方法です。皮膚の切開もなく手術時間も1時間以内と極めて侵襲

の低い手術です。翌日から自由に動くことができます。2018年から日本での保険適応治療が始まった比較的新しい治療法です。

(2022年6月現在 千葉県内医療機関では当院のみ)



経皮的椎間板除圧術



背骨のクッションである椎間板がなんらかの影響によって飛び出し、それが痛みの原因になることがあります

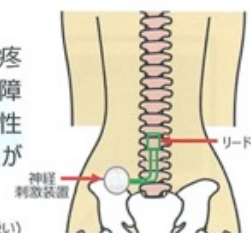
(椎間板ヘルニアによる痛み)。その椎間板の一部をレーザーで焼却することにより飛び出した椎間板を縮小させる方法です。ヘルニアによる激痛は劇的に改善されます。通常のヘルニア手術より侵襲が低く1週間後には通常の生活に戻ることができます。

(2022年6月現在 千葉県内医療機関では当院のみ)

脊椎刺激療法

あらゆる痛みの治療を行っても、夜も眠れないほどの痛みがある患者さまに行われる治療法です。痛みを感じる最も重要な通路である脊髄の周辺に刺激電極を挿入し、電気刺激を与えることにより痛みを緩和することができます。最近

では、神経障害性疼痛だけではなく血流障害による痛み(虚血性疼痛)にも有効性が示されています。



(2022年6月現在 千葉県内医療機関では当院含めて数病院の取り扱い)